

公益社団法人 福岡県理学療法士会

平成 29 年度 第 5 回理事会議事録

日 時：平成 29 年 12 月 16 日（土）14：00～18：00

場 所：麻生リハビリテーション大学校

出席者：（理事）西浦、永友、近藤、諫武、永野、廣滋、音地、佐藤、宇戸、高橋、熊谷、久原、松崎、
時吉、今村、岩佐、山内、遠藤、福田

（欠席）久保田

（監事）明日、森田、日野

（事務員）中山、長田

（書記）平原、池永

議長は、西浦会長がつとめ、永友副会長、近藤事務局長とともに議事録に署名することを確認した。

【審議事項】

【会長】

【法人事業】

1. 平成 30 年度事業計画案について（別紙：01）

（公益事業 1 について）

諫武理事：公益事業 1-1 について説明

高橋社会局長：介護保険関連施設等従事者研修会は、訪問リハビリテーション実務者研修会と内容が似通っていて、訪問リハビリテーション実務者研修会の内容が充実していることから、介護保険関連施設等従事者研修会は来年以降実施しない方針で決定し、報告する。

西浦会長：老健施設を職場とする会員も多いので、介護保険関連施設等従事者研修会は無くすべきではないのではないか。

久原理事：ここ数年の介護保険関連施設等従事者研修会は訪問リハや訪問ケア地域包括ケアシステムの内容とかぶっている。職能部として、啓発、育成を目的にすると、訪問リハ実務者研修会で内容が十分補えるのではないかと考えている。

諫武理事：通所リハの研修会や短時間通所リハビリテーションを対象とした研修会を開催してはどうか。

高橋社会局長：それに関しては企画していないが、3 士会合同で開催している訪問リハ研修会が 2 日間で充実していると考えます。

西浦会長：訪問リハ研修会は協会から 2 日間と指定されている。理学療法士会：60 万円、作業療法士協会：30 万円、言語聴覚士会：10 万円と、2 日間で 100 万円の費用が掛かっており、今後検討する予定である。

ただ、廃止にするのであれば、今後会員に対して訪問リハや地域包括ケア関連の研修会で通所リハの内容もで実施するとの案内が必要である。

今村理事：地域包括ケアに通所リハを含めることは可能ではあるかもしれないが、別物の印象がある。

予算的な検討も必要だが、それに特化した内容の研修会があるべきではないか。

高橋社会局長：通所リハの加算が取れないという話は会員から聞いている。今度の診療報酬改定もあるため、ひとまずその方向で行い再度検討してもよいか。

永友副会長：訪問リハ実務者研修会は訪問リハステーションを設立するための PT、OT、ST が協力して、管理者育成の要件を満たすことを目的としている。3 士会で協力して管理者を育成し、訪問リハビリステーション設立について特化した内容のものでもある。介護保険関連施設等従事者研修会と目的が異なっている。年度ごとに一つに特化した内容でテーマを絞って継続してみてもどうか。ただ一つにテーマを絞ると他の興味のない会員の要望を満たせないのので、各専門の協議会が行っている研修会をアナウンスしてはどうか。

高橋社会局長：介護保険関連施設等従事者研修会の参加者数は 70 名程度である。内容について、介護保険に従事している部長や理事が少なく十分な議論がなされていない可能性もある。来年度、再度検討していきたい。

西浦会長：社会局で再検討していただきたい。

近藤事務局長：介護保険関連施設等従事者研修会は廃止する予定だったのか？廃止する場合は 2 月の理事会で理由を含めて提出していただきたい。

西浦会長：介護保険に詳しい部長が必要であれば推薦、増員していただきたい。

⇒継続審議

宇戸理事：内部障害に関する研修会の名所変更を提案した。名称と開催回数は、次回に報告する。臨床理学療法研修会は 1 回の予定である。

諫武理事：各支部地区研修会について説明

⇒承認

諫武理事：公益事業 1-2 基礎実践教育研修について説明

永友副会長：基礎理学療法研修会を 0 回にした理由は何か。

福田理事：支部研修会の内容とかぶるため、支部局事業へ入れ込んで開催するという流れになった。

熊谷理事：筑後支部が研修会の回数が多いが、支部ごとに均等にする必要はないのか。

福田理事：支部内で数を調整している。

近藤事務局長：基礎理学療法研修会を廃止する理由を明確にして、変更届を提出する。

⇒承認

諫武理事：公益事業 1-4 学術誌について説明

廣滋学術局長：今年度は 5300 部に変更した。会員数によって変更になるが、予定では 5700 としたい。

⇒承認

(公益事業 2 について)

西浦会長：体力測定会について市民から得たデータをどうするのか考えなければならない。理学療法の啓発と体力測定会との関係を含め検討しなければならない時期に来ている。今後、市の事業

として発展できるのか？ただ、体力測定を取り続けるのか？リピーターによっても検討しなければいけないが県士会として、どのようにデータの有効使用ができるのか、予算を使用する上でも発展できる形にしたい。

山内理事：北九州支部は事業回数が多く、10年以上継続している。評価内容に関しては検討して変更しているが、今後の発展については思考が十分ではない。予算もかかっており、県士会としての方針があると支部のスタッフに伝えやすい。

佐藤理事：データを取った対象者の氏名、住所は記録しているのか。

山内理事：現在は名前だけである。

佐藤理事：対象者の同意のもと、数年後に介護保険データなどを取得出来れば、前向きなデータとして予後予測の指標となる。県士会として社会に報告できるのではないかと。

松崎地域包括ケア推進局長：それだけの大規模なデータにするならば、現在とっている評価項目などを統一すべきである。

佐藤理事：今あるエビデンスから、因子を整理して、1年後に郵送でアンケートに答えてもらうなどデータを取れば、県士会として発展的なデータになるのではないかと。

永友副会長：研究としては素晴らしいが、同意書などの保管など、県士会で行うには業務が困難と考える。対象者に不愉快な思いをさせかねない。体力測定会を理学療法士の啓発とするのであれば、データを取るために行う活動とは別物として、一線を画したい。県士会でそこまでする必要はあるのか。

近藤事務局長：北九州市の方法について具体的に説明していただきたい。

山内理事：保健師と協力して実施対象者には体力年齢などの結果が返せており好評である。スタッフが20名必要なため費用は掛かる。20名のうち各月に2名を市民センターに配置して、事業所のように継続的に見てもらうように出来ないか検討している。ショッピングセンターなどは啓発目的とし、市民センターやサロンは佐藤理事のように効果を求める役割もあっていいと考える。体力測定会は2種類の目的で動いてよいと考えるが、現状は混在しており現場は混乱している。

高橋社会局長：公益事業の方が、イベントのような啓発的な役割が強いと考える。

熊谷理事：体力測定会は市民の方への啓発目的の意味が強かった。啓発以外の目的については曖昧な状態のままである。体力測定の結果を返すことが主とされ、結果の意味など十分に伝えられていた。現在、公益事業では評価指標の見直しを始めている。今後の体力測定会の目的を含め、検討している。

今村理事：元気な高齢者を教育し、その人が地域をプロデュースするようなシルバーリハを育成し、測定員として配置していく事業の流れをつくっていく上で、体力測定会は活用できないか。地域のサポーターと連携して行えば、測定会に20名の人員配置は必要なくなる。地域サポーターを利用するなら、体力測定会の測定項目は、特殊な機器を使わないサポーターが使用できる測定方法に変更すべきである。

西浦会長：体力測定自体を反対しているわけではない。

山内理事：フィードバックに関しても一様にならないように個別に問診をして対応している。

熊谷理事：就労に関しては評価指標がない。ショッピングセンターでは10代から80代まで幅が広く、

それに対応にできるように調査している段階である。

廣滋学術局長：今までのデータは統計処理を行う必要があるのではないか。開催場所や参加者数、年齢層などの分析を行った上での意義を残すべきではないか。社会情勢的に年齢別、地域別にどんな対象者が興味を持っているのかなど、整理をすれば見えてくることもあるのではないか。どの部署がそれを行うのかは問題である。

近藤事務局長：これはすぐに変更できることではないので、来年度に社会局や支部局、地域包括ケア部で検討していただきたい。

西浦会長：体力測定会の有り方については今後検討していくとし、来年度は調整も含め発展を期待したい。

⇒承認

(公益事業3について)

諫武理事：公益事業3について説明

高橋社会局長：ときめきスポーツ大会は来年度からも毎年の継続事業になる予定である。知的障害の方はスポーツに慣れておらず、医師と看護師と一緒にいき、理学療法士としてテーピング対応などを行っている。

⇒承認

(その他事業、法人事業について)

諫武理事：その他事業・法人事業について説明

西浦会長：卒前卒後教育検討委員会は5回必要か。

宇戸理事：減らす方向である。3回とする。

西浦会長：組織検討委員会は3回、選挙管理委員会は今年度と同様する。

⇒承認

2. 平成30年度予算案について(別紙:02)

諫武理事：収入を6000万円程度と予定している。支出は7400万円であり、840万円の赤字となる。削減できるものを調整して、実際は600万円の赤字である。赤字打開のために削減策を2つ提案する。

①Web会議を県士会にも導入する。日本理学療法士協会は既に使用している。

初年度は23万円、2年目から18万円の負担となる。一人につきWebカメラ(2000~3000円)を購入する必要がある。協会では、役員に貸出し辞める際に返却としている。この案により交通費が削減でき、年間416万円の削減を見込める。会議手当(謝金)を設定してはどうか。

岩佐支部局長：全ての役員~運営委員がインターネット環境を整えているとは限らない。その際、病院等のインターネット環境を利用することは困難ではないか。

廣滋学術局長：スマートフォンでも可能である。

永友副会長：会議予定の65回とはどこまでの範囲か。

諫武理事：すべての部局の会議である。

永友副会長：支部地区レベルの運営会議は近隣の場合が多く、顔を合わせて行うことも望ましい場合がある。会議の内容、必要性に応じて分けた方がよいのではないかと。支部地区レベルの会議は交通費もそこまでかからないのではないかと。

熊谷理事：協会ではインターネット環境についての問題はなかったのか。

西浦会長：インターネットを使用することを前提としている。

今村理事：スマートフォンを使用したとしても、会議費の支給がある為インターネット料金として十分である。

諫武理事：②交通費規程を変更したい。事業に関する交通費は、5時間を基準に分かれ、距離によっても金額が大きくなる。まずは事業に関する基準を廃止し、会議用の交通費で統一したい。検討いただきたい。次回理事会までに、Web会議への変更可能なものや交通費改訂額を調整いただき再度予算書を提出いただきたい。

松崎地域包括ケア推進局長：食事代は含んだままでよいかと。

高橋社会局長：公益事業で出務者数が多い場合、遠方からの参加が増えることで交通費が高額になる。出務者数が多い事業に関しては、交通費を一律額にしてはどうか。

諫武理事：事業数は今後も増えていく可能性がある。事業により一律額する案は作業等が煩雑になる可能性がある。

森田監事：経費削減という方針のもとWeb会議に協力していくべきではないかと。Web会議に参加できるところに移動してもよいのではないかと。運用次第であると考えます。

西浦会長：交通費規程の事業に関する金額については、廃止ではなく一旦凍結とする。

諫武理事：費用別一覧表を作成するので、その費用を再度書き換えて提出していただきたい。変更箇所については赤字にして提出していただきたい。

熊谷理事：Web会議については、協会の末端組織として協会が使用しているものを利用できないかと。

諫武理事：会議時間が重なる場合は利用が出来ないため難しい。

近藤事務局長：継続審議として、一旦交通費の変更を含め財務部まで提出いただきたい。

諫武理事：締め切りは12月中でお願いしたい。

岩佐支部局長：インターネット環境を確認したいので時間がほしい。

諫武理事：2月10日では予算を確定しないといけない。早めに提出を依頼する。

熊谷理事：カメラの予算は含めるのか？

諫武理事：カメラの予算は事務局で上げるため必要ない。

⇒継続審議

西浦会長：北九州マラソンの救護に運営スタッフが出務しているが予算が高額となっている。スタッフには感謝しているが、今後ボランティアでの参加を促す方針にすべきだろうか。

高橋社会局長：今年度は100名募集を60名に抑えた。ボランティアにすると集まらない可能性がある。

諫武理事：改定した交通費でシミュレーションしてみてもどうか。公益事業であるため交通費は出す方向で検討していただきたい。

【事務局】

【公益事業2. 理学療法の知識・技術の普及を行う事業】

[組織部]

1. ホームページ改良について（別紙：HP 企業比較）

1) 現況の報告と改良点

- (1) TOP ページ含め全ページにおける情報のわかりやすさを向上させる
- (2) 画像を多用し、デザイン性を向上させ、県民の HP 訪問数を向上させる
- (3) 会員の写真撮影を行い、理学療法士のイメージをわかりやすく掲載する
- (4) 県民向けや会員向けイベントの告知を充実させる
- (5) ログイン規制をできるだけ少なく見えるように工夫し、親近感をだす
- (6) 文字の切り替えを削除する
- (7) スマホ版のデザインを向上させる

2) 費用及びデザイン

永野理事：現状のパズーに 3 社を加え検討している。リニューアル費用と年間使用費用を 4 社で比較した。現在の利用状況と同条件で検討してもパズーは高い印象である。また、年間 100 万円の費用がかかっている。また、運用してみないと見えない問題もあるため現状の提案に予備費として+20 万円を見込んでいる。

近藤事務局長：事務局としてはサンゼンデザインと堀井製作所の 2 社で検討している。

岩佐支部局長：この資料では不十分。詳細な資料で比較しないと賛否が言えない。高いのは高いなりの理由があるのではないか。

永野理事：組織部では詳細な資料をもとに 4 社を比較している。費用に差が生じている原因は、今回新たに提案する 3 社は HP 専門業者であり、前回依頼していた HP は専門業者ではないことが影響していると考えられる。実際に 3 社に現状の HP をみてもらい、各社の担当者と話し合いを始めている。HP は 3 ヶ月でリニューアル可能である。

西浦会長：会員から HP が見にくいと意見がある。予算を含めて、組織部の推奨する 2 社を事務局で検討し決定することを一任する。

⇒承認

【法人事業】

[総務部]

1. 九州北部豪雨災害に対する募金入金について（別紙：03）

8 月開催の理事会で決定した九州北部豪雨災害に対する募金活動を行った結果、以下の義援金が集まった。そこで、福岡県共同募金会への募金を実施することを承認頂きたい。

113,851 円（福岡県理学療法士会義援金 10 万円含む）

12 月 16 日理事会承認後→入金（12 月 28 日終了）

※福岡県共同募金会（電話 092-584-3388）

募金の使いみちについて

寄せられた義援金については、福岡県が設置する義援金配分委員会を通じて被災者に届けられる。

義援金の配分

(1) 配分基準

第1回福岡県義援金品配分委員会（8月23日）で決定した「配分基準（配分比）」によります。

配分基準			
被害区分	配分比	被害区分	配分比
死者	10	全壊	10
重傷（3月以上）	5	半壊	5
重傷（3月未満）	3	一部損壊	1
		床上浸水	1

岩佐支部局長：募金を行う事業所は1ヶ所にしなければならないのか。

諫武理事：そうではない。3ヶ所検討して福岡県共同募金会が有効に使ってくれると判断した。

山内理事：今後の募金活動について、どの程度の災害に対して行うのか規定しておく必要がある。今回のように開始時期が遅くなり、期間が短くなることで十分に対応ができない。まずは、今後行うのか、行うのであれば対象を決めていただきたい。

西浦会長：今後、事務局で検討していただきたい。

⇒承認

2. 事務所職員（理学療法士）の業務について（別紙：「糸島市・福岡市事業 委託費」）

平成30年1月より県士会事務所に理学療法士を雇用する。業務内容としては、県士会事務所職能要件書に記載されている業務を行うが、財務部報告にもあるように次年度も福岡県理学療法士会の財務状況は収入不足が予想されている。そこで、各方面より依頼される委託事業に関して調整が可能な場合は、県士会事務所より派遣を行う体制を構築することを提案する。

例) 介護予防教室、地域ケア会議 等

収入予測：約50万円～100万円

※移動に関して

基本は、公共交通機関を利用するものとするが、開催場所などによりやむを得ない場合などは、カーシェアリングの活用を行うものとする。

カーシェアリング

法人契約 例) 月4回 3時間利用 車種 デミオなど

月利用料；9888円（ガソリン代含む）

諫武理事：糸島市の介護予防事業で年間50万円の収入がある。現在、会員を派遣しており、手数料500円を県士会が徴収し、残りを会員に支払っている。今後は事務職員（理学療法士）にも参加してもらう方向で検討していきたい。その場合、公共交通機関がない場所もあるため、カーシェアリングを使用できる状態にしておく。

佐藤理事：介護予防事業に事務職員が参加した場合は、事務職員の収入が増えるのか？

諫武理事：業務時間中に行くため、その収益は事務所のものとする。

西浦会長：事務職員に理学療法士がいることを会員にも知ってもらう上でも参加すべきである。

日野監事：カーシェアリングで賄えるのか。

諫武理事：原則、公共交通機関で行けるところは、その手段で行っていただく。

今村理事：事務所職員の知識向上や技術向上のためにも。支援や会議参加なども検討してはどうか。

熊谷理事：公共交通機関＋タクシーの方が安いのであれば、カーシェアリングでなくてもよいのでは
ないか。

諫武理事：金額が安い方法を検討していく方針である。

⇒承認

3. 公益社団法人福岡県理学療法士会設立 50 周年記念事業準備委員会設置について (別紙：04、05、06)

当会は、2019 年（平成 31 年）9 月 7 日（土）設立 50 年を迎える。50 周年を記念して、福岡県理学療法士会として記念事業実施に向けた準備委員会の設置を提案する。なお、今年度予算において 50 周年記念事業準備委員会設置予算は組んでいなかったため今年度は、理事会時に開催する。

諫武理事：予算費用の 900 万円のうち、来年で積立費用が 600 万円の予定である。

⇒承認

4. 平成 30 年度事業計画（案）について（会長項目で審議）

各部局より提出された事業計画（案）について審議をお願いしたい。事業計画可決後、平成 30 年度事業予算の確定作業に入る。

⇒会長審議事項参照。

5. 県士会各部局会議への WEB 会議導入について

近年の理学療法士会に求められる事業数の増加に伴い会議開催数も大幅に増加している。そのため、2 年前に改定した交通費規定に基づく支出を運営委員に対して行うと赤字決算となる恐れが高くなる。今後も理学療法士会に求められる事業等は増加することも見込まれ、今後も今以上に会議の回数も増加する可能性がある。そこで経費削減と効率化を目的として平成 30 年度中の WEB 会議導入を提案する。

導入案：日本理学療法士協会が活用している WEB 会議システムと同様のものを使用。

NTT コミュニケーションズ

Arcstar Conferencing Web Conferencing

料金：別紙参照（当日準備）

⇒継続審議

[財務部]

1. 修正予算を受けて平成 29 年度下半期各部局事業の実施に関して

前回の理事会後各部局より提出いただいた修正予算書をもとに平成 29 年度事業別費用一覧表の作成を行ったところ、収支相償はクリアできたもの今回は大幅な赤字決算となった。そこで財務部にて事業別費用一覧表より提出いただいた費用の削減提案を行ったのでご審議いただきたい。

H29. 11. 29 現在

収入予測 59,992,978 円

支出予測（修正予算入力済） 65,957,626 円

G表にて公益法人三要件を確認すると

△ 4,957,626 赤字決算の可能性あり

公益比率 65.03%

収支相償 △ 9,105,708 クリアしているが赤字の削減を行う必要があり、以下の予算の削減を提案する。

<予算削減案>

- ・支部局・・・支部用パソコン 485,000 円
 - ・学術局・・・県学会運営費 150,000 円
 - ・組織部・・・ホームページリニューアル 1,200,000 円
 広報誌リニューアル 700,000 円
 - ・社会局・・・交通費削減 30 万円
- 合計① 2,835,000 円

上記対策を実施しても依然として約 240 万円の赤字が予想される。

対応策として以下の提案を行いたい。

①以下の事業の運営委員交通費の予算執行を停止する。

- ・第 27 回福岡県理学療法士学会 25 万円
 - ・平成 29 年 12 月、平成 30 年 2 月理事会 40 万円
 - ・平成 30 年 2 月開催予定北九州マラソン 73 万円
 - ・平成 30 年 3 月開催予定北九州オープン 31 万 9 千円
 - ・平成 30 年 3 月開催予定「食と健康を学ぼう」29 万円
 パソコンソフト 7 万 6 千円
 「デフバスケット」 44 万円
 - ・総務部、財務部会議 2 月開催予定中止 4 万円
- 合計② 2,545,000 円

①②=5,380,000 円

運営委員交通費の支給は、平成 30 年 3 月 1 日現在での県土会の財務状況を確認したうえで支給を決定することを提案する。

諫武理事：現状で 450 万円の赤字予定である。

音地理事：県学会運営費 15 万円の削減は難しい。

諫武理事：財務状況を確認したうえでの支給に関する案は事務局会議で凍結になった。交通費について 1～3 月の交通費は、会議費に合わせる代替案で対応する。会費未納者が減らないと赤字が続くため、対応が必要である。

西浦会長：受益者負担も検討していくべきである。本日付で、修正案交通費に変更する。

⇒承認

2. 平成 30 年度予算（案）について

各部局より提出された事業計画をもとに平成 30 年度予算案を作成したので別紙参照いただきたい。（会長項目で審議）

⇒会長審議事項を参照

3. 会費割引制度導入について

日本理学療法士協会に合わせて、育児休業割引、シニア会費割引の導入を行いたい。会員の退会防止に有効に活用できると考える。

過去協会実績：2015 年度 シニア割引 3 名

育児割引 17 名

2016 年度 シニア割引 2 名

育児割引 32 名

協会の通り 3000 円で統一すると・・・

2015 年 10000 円が 3000 円となるので

140000 円減額

2016 年 238000 円減額

諫武理事：会費改定については、総会での審議が必要なため早くて再来年の 3 月からの開始予定である。

岩佐支部局長：育児割引は 1 年間か？いつから適応か。

遠藤理事：育児割引の申請をして次年度の 1 年間である。

西浦会長：基本的には賛成である。しかし、収益が減ってしまうことを懸念する。

近藤事務局長：シニア割引は、定年後の会員に残っていただくことが期待できれば、長い目でみて収益減とは言えないかもしれない

⇒承認

[組織部]

1. 広報規程改定について（別紙：広報規程（改定））

永野理事：第 8 条 5) に研修会費用が 2000 円以下の場合には 2000 円の HP 掲載料を徴収するという規定を追加する。過去に理事会に承認を得ていたようだが、今まで規定が改定されていなかった。

⇒承認

【学術局】

【公益事業 1 理学療法士の知識及び技術の向上を図る事業】

[学術局]

1. 韓国慶尚南道物理療法士会との学術交流について

韓国慶尚南道学会は毎年 4 月に開催されている。講師依頼を受けて、2016 年 4 月；西浦会長、永友副会長、2017 年 4 月；松崎理事、永友副会長が講師を務めている。

1) 2018 年度韓国慶尚南道学会への講師案（2 名）

会 期：平成 30 年 4 月 14 日、15 日

講演テーマ：予防理学療法

講師案：廣滋 恵一 氏（我が国の予防理学療法の取り組みと課題）

音地 亮 氏（再発予防・重症化予防の取り組みと課題）

⇒承認

2) 2018 年度以降の慶尚南道への講師依頼

県士会においても県学会または学術研修大会で韓国からの講師招聘を図り交流を発展させたい。国際交流を発展させるため、第 101 回学術研修大会にて招聘講演を企画したい（企画案は今後、学術研修部より提案予定）。

岩佐支部局長：今後、1 年交代という話ではなかったか。

西浦会長：長崎県理学療法士協会は毎年交流しており、毎年の交流が望ましい。講師も 1 名呼ぶ方針である。

山内理事：韓国の方 1 人だけが英語で発表するのではなく、県学会でも英語セッションを作るべきではないか。

西浦会長：通訳がつくので問題ない。

今村理事：千葉で開催された全国学会では英語セッションがあった。そういうチャレンジがあっても良いのでは？

西浦会長：まずは韓国交流を目標にして、通訳をつける方針である。

諫武理事：発表は一般演題とポスター発表とどのように考えているのか

廣滋学術局長：一般演題発表の中で英語セッションを考えている。

西浦会長：MOU 締結を結んでいるため、毎年交流の中で検討していく。

岩佐支部局長：費用負担はどうなるのか。

永友副会長：今までは役員レベルでの交流であり、お互いに自分たちで負担してきた。その代わり、韓国滞在費用の一部は韓国側が担っていた。今後、一般会員の交流になれば、県士会で補助もしくは自己負担になるか未定である。

西浦会長：この問題については、相手方の問題もある為今後決定していく。

⇒承認

3) 2018 年度以降の慶尚南道及び福岡県士会会員との交流深化（案）

①韓国から県学会の口述発表もしくはポスター発表にエントリーしていただく

（韓国からのエントリー方法は、学会部を中心に今後検討）

②県学会の優秀賞、奨励賞の受賞者に韓国での発表機会を提供する

③費用（旅費や参加費）についての適応範囲を事務局と協力して規程案を作成

④学会案内や演題エントリー方法、規程の翻訳は、翻訳企業に委託（予算化）

⇒承認

[学術誌編纂部]

1. 生活環境支援理学療法分野の補充について

査読委員の辞退にともない、遠藤 正英 氏（桜十字福岡病院）を生活環境支援理学療法（福岡支部）の論文査読者として依頼したい。

⇒承認

[学術研修部]

1. 平成 30 年度福岡県理学療法士会学術研修大会 開催日時・会場案について

(別紙：07)

平成 28 年度（北九州）、平成 29 年度（福岡）で開催しており、これまで各支部で年毎に開催している。しかし、各支部の会員が集まり易い福岡支部での開催をとの声がある。今後の方向性として福岡支部での開催を検討したいと考えている。また、研修大会の内容についても学術研修部で検討しており、2 会場と 3 会場案での意見を頂きたい。以下、開催日時・会場案についてご審議いただきたい。

1) 開催候補日：平成 30 年 8 月 19 日（日）

2) 会 場 案：

・アクロス福岡 国際会議場及び大会議室（2 会場）

(〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神 1-1-1)

・北九州国際会議場 国際会議場及びメインホール、21 会議室（3 会場）

(〒802-0001 福岡県北九州市小倉北区浅野 3 丁目 9-30)

宇戸理事：福岡支部開催であれば、参加者数が多く見込まれる。北九州支部開催であれば、3 会場の使用が可能のため研修の充実が可能である。学術部としては福岡支部での開催を推奨する。

西浦会長：福岡支部での開催とする。

⇒承認

近藤事務局長：日程について、8 月開催は今後も継続か。他の研修会と重ならないため、8 月を継続固定でよいのではないか。

[教育研修部]

1. 平成 29 年度臨床理学療法研修会

福岡県理学療法士連盟の活動報告会と同日で開催となっている。「協会指定管理者（初級）」が取得できる研修会として開催を検討している。ご審議いただきたい。同期開催の士会主催のマネジメント研修に、西浦会長からの講演をお願いしたい。

平成 29 年度臨床理学療法研修会（管理者研修（初級））

日 時：平成 30 年 2 月 17 日（土）

場 所：麻生リハビリテーション大学校（8F）

第 1 部：士会主催のマネジメント研修（15：30～16：00）

講 師：西浦 健蔵 氏（公益社団法人 福岡県理学療法士会 会長）

テーマ：未定

第 2 部：臨床理学療法研修会（管理者（初級）研修会）（16：00～17：45）

講演Ⅰ（16：00～16：45）

テーマ：「理学療法の臨床・教育・研究の未来を切り拓くために」（仮題）

講師：田中 昌史 氏（日本理学療法士連盟会長）

講演Ⅱ（16：45～17：45）

テーマ：「診療介護報酬同時改定最新情報とこれからの理学療法士が歩むべき道」（仮題）

講師：半田 一登 氏（公益社団法人 日本理学療法士協会会長）

※平成30年度連盟活動報告会が以下の日程で開催されます。

日時：平成30年2月17日（土）15：00～15：30

場所：麻生リハビリテーション大学校（8F）

岩佐支部局長：田中先生の肩書は連盟会長でよいのか。

西浦会長：確認が必要である。管理者初級とすると参加者が少ないのではないかと。臨床理学療法研修会をメインにした方が集まりがよいのではないかと。

諫武理事：今年度の開催した管理者研修会（初級）は参加者が20名程度であった。

熊谷理事：若い人は管理者（初級）がつくと参加しない可能性がある。

諫武理事：管理者（初級）をつけるのであれば、プログラム通りでないとう単位が発行できない。

永友副会長：管理者（初級）を取りたい会員は大丈夫なのか。

諫武理事：来年度は地区ごとに管理者研修会（初級）を企画しており、問題ないとする。

西浦会長：臨床理学療法研修会だけで開催していただきたい。

熊谷理事：田中先生については、会員にどこまで情報を伝えて良いかと。

永野理事：選挙活動は選挙期間中しかできないため、言葉の選択には気を付けてください。選挙と名前と応援を一緒に行わない。後日、統一した文章を作成し配信させていただく。

宇戸理事：15：30から連盟報告会としたい。

⇒承認

【社会局】

【その他事業 会員の福利厚生に関する事業】

[職能部]

1. 平成29年度福岡県訪問リハビリテーション実務者研修会での託児サービス運用について

平成30年2月24日～25日に福岡県理学療法士会、福岡県作業療法士協会、福岡県言語聴覚士会で実施予定の事業で託児所設置の依頼が来ている。今年度は本会が中心に実施する予定になっており、託児費用の負担や他団体会員の託児も行わなければならないため、ご審議いただきたい。

西浦会長：託児費用はどうなるのか。

久原理事：前回は言語聴覚士会が費用負担しており、今回は当士会が負担となる。

西浦会長：県士会としては予算内で行って頂きたい。会長から両協会・士会へは提案する。

久原理事：今回、託児のスタッフに関しては職能部から手配する。

永野理事：国家試験期間中でもあり、当日組織部の部長の出務が出来ない。マネジメントの協力はしたい。

⇒承認

2. 学校保健に関わる理学療法士の実態調査アンケートについて（別紙：08）

学校保健や児童・生徒に対する健康診断・保健指導（疾病・傷害予防）等における理学療法士の学校保健現場での活動事例を把握し、今後の理学療法士の学校保健現場でのあり方を検討し、会員のニーズにあった研修会や育成事業を展開できるようにするため、実態調査を実施したい。

近藤事務局長：どこをターゲットにして送る予定か。

久原理事：全施設に送る予定である。

諫武理事：予算は組んでいるか。

高橋社会局長：今年度の予算には組んでいない。

永野理事：もともとある郵送物(学会誌など)に封書してもらう方法はどうか。返信についてはメールやFAX、HPを使用してはどうか。郵送よりは安くできることもある。

久原理事：3月に学校保健に関する法律が変わるので急ぎたい。3月までにはデータを集めたい。

西浦会長：理学療法士の広報にもなるので支援したいが、方法については検討すべきである。

佐藤理事：アンケート内容をA4：2枚くらいに絞ってはどうか。

西浦会長：啓発の意味で施設に1部郵送し、HP上でアンケートの回答を求めるのはどうか。支部のメールやFAX通信で案内する。

永野理事：アンケートの項目を決めて、HPのソフトを構築する費用と時間どのくらいかかるかわからない。会員に案内を郵送し、回答期間を考えると時間がない印象ではある。

近藤事務局長：今後のビジョンは。

久原理事：夏休みなどに何か活動ができればと考えているが、結果を見て内容は検討したい。

西浦会長：重要なことではあるので、HP費用含めて、前向きに再度で社会局内で検討していただきたい。

⇒継続審議

【地域包括ケア推進局】

【公益事業1 理学療法士の知識及び技術の向上を図る事業】

1. 地域包括ケア推進リーダースキルアップ研修会（別紙：09）

日 時：平成30年1月14日（日）8：30～17：00（5.5時間）

場 所：久留米ビジネスプラザ

- 内 容：①講義「地域包括ケアシステムに関する基礎知識」
②講義「介護保険制度の基礎知識」
③講義「自立支援に資するアセスメントの方法」
④グループワーク「自立支援に資するアセスメントの方法」

山内理事：講師の略歴を記載していただきたい。

松崎地域包括ケア推進局長：FAX通信とHPで募集する予定である。

岩佐支部局長：市の職員であれば謝金の対象とはならないのか。

今村理事：休日のため謝金の対象である。

⇒承認

2. 介護予防推進リーダースキルアップ研修会（別紙：10）

日 時：平成 30 年 2 月 11 日（日）8：30～17：00（5.5 時間）

場 所：TKP ガーデンシティ博多新幹線口 4A

内 容：①講義「地域包括ケアシステムに関する基礎知識」
②講義「介護保険制度の基礎知識」
③講義「高齢人口減少社会に対応する介護予防について」
④グループワーク「地域の実情に応じた介護予防施策と理学療法士の役割」

⇒承認

【公益事業3 理学療法の知識・技術を提供する事業】

1. シルバーリハビリ体操指導士養成事業及び2018年7月15日理学療法の日について

時吉理事：茨城県では地域住民が地域住民に対して介護予防を行い、それに関わっている人も介護予防につながっている。理学療法士は地域住民に教育する立場として存在意義を明確にしていく必要がある。

松崎地域包括ケア推進局長：全国統一でシルバーリハビリを導入してほしいと要請が来ている。来年の7/15は地域包括ケア推進局が主体で、支部局と社会局との3局で検討できればと考えている。

岩佐支部局長：介護予防事業を減らす方向の中でこれは実施していくのか。

西浦会長：7/15は啓発活動としても実施していくべきである。今後は、どこが主体になって進めるのか、今後も地域包括ケア推進局に一任するのか。

高橋社会局長：社会局としても協力したいが、一度局内で検討しないと回答できない。

岩佐支部局長：予算はどうなっているのか。

山内理事：支部から予算を上げている。

熊谷理事：体力測定会とどう異なるのか、今後のビジョンがよくわからない。

松崎地域包括ケア推進局長：まだ行政に理解を得られる段階にない。今回は、理学療法士ができる活動の宣伝として活動し、今後市町村の地区住民とコラボして、担当支部と一緒に事業をやっていきたいと考えている。

山内理事：北九州支部は前向きに検討したい。

今村理事：対象者は行政向けなのか、住民なのかで内容が異なる。今後は行政が音頭をとって県士会が受けるほうがよい。

岩佐支部局長：来年度実施後に、どこが主体となるかを検討してはどうか。

西浦会長：今回は地域住民を対象にし、今後は行政にコンタクトを取っていく方針とする。

山内理事：後々はサロンなどの代表者に事業説明をしていく方向性か。

松崎地域包括ケア推進局長：そのように考えている。

西浦会長：今回は地域包括ケア推進部主体で社会局は援助する方針とする。

⇒承認

2. 地域医療介護総合確保基金（H29 年度）パンフレット内容確認（別紙：11）

松崎地域包括ケア推進局長：この内容については理事メールでご意見いただきたい。

西浦会長：メールで意見交換し、地域包括ケア推進局に一任とする。

⇒承認

【法人事業】

1. 部長の名刺について

今後、地域包括ケア推進局は各市区町村への挨拶に理事・部長で伺う予定である。部長の名刺を作成していただきたい。

⇒承認

【各委員会】

【選挙管理委員会】

1. 選挙規程変更について（別紙：12、13、14）

田代委員長：選挙活動において県土会の HP を利用することは可能か？

永野理事：対応可能である

田代委員長：前回指摘された 3 点について回答する。1 点目：4 人目の選挙管理委員は 2019 年の 6 月に追加し、2 年の任期とする。同時に 2019 年のみ選挙管理長の任期を 1 年追加する。2 点目：第 10 条の被選挙人の条件を投票締切日より 90 日以前とする。12 月 1 日で名簿作成としていたが、選挙日が早まった場合に対応が困難になるため、変更したい。3 点目：代議員選挙の欠員が生じた場合は、「支部各担当地区部長と地区部長が推薦し、地区部長が最終決定とする」に変更する。

近藤事務局長：委員の増員については代議員総会の審議が必要である。

田代委員長：代議員総会で可決された次年度に 4 人目を追加する予定である。

近藤事務局長：2019 年 6 月まで 3 人、総会で承認されれば、4 人態勢となるという認識でよいか。

西浦会長：協会では代議員推薦、決定する期間が決まっているが、県土会でも明記する必要はないのか。

田代委員長：持ち帰って検討する

西浦会長：協会の代議員と差が生じないようにしていただきたい。2 月理事会にて再度検討し、4 月には総会資料として確認したい。

⇒今回の報告については承認。協会代議員との比較検討は継続審議とする。

【表彰規定委員会】

1. 平成 29 年度日本理学療法士協会協会賞候補者推薦について

今年度の日本理学療法士協会協会賞について以下の方を推薦したい。

平成 29 年度日本理学療法士協会協会賞推薦候補者

古島 譲 氏 1979 年日本理学療法士協会入会

<役員歴>

日本理学療法士協会代議員 平成 22 年～平成 24 年

福岡県理学療法士会

諫武理事：古島 讓氏は、平成13年より4年間にわたって理学療法啓発部担当理事として理学療法の啓発に関して貢献された。その後、2年間社会局の体制づくりに努め、平成19年～20年にかけて副会長として会長補佐を行いながら福岡県理学療法士会発展に努めた。平成21年からは、監事として福岡県理学療法士会の運営サポートに努めていただいた。平成20年に開催された第43回日本理学療法学会大会においては、運営局長として大会の成功に向けて尽力された。以上の理由から福岡県理学療法士会として推薦したいと考える。

⇒承認（本人の了承を持って承認とする）

【報告事項】

【会長】

【法人事業】

1. 士会機能強化推進執行委員会の各都道府県士会へのヒアリング訪問（鹿児島県）

日 時：平成29年11月4日（土）17：00～19：30

場 所：サンエール鹿児島

出務者：西浦

2. 平成29年度第2回九州ブロック各県理学療法士会長会議

日 時：平成29年11月10日（金）15：00～17：00

場 所：シーガイアコンベンションセンター 4階 マーブルルーム

出席者：福岡～西浦 健蔵（会長） 近藤 直樹（事務局長）

長崎～塩塚 順（会長） 大山 盛樹（副会長）

熊本～北里 堅二（会長） 大脇 秀一（事務局長）

大分～河野 礼治（会長） 市川 泰朗（事務局長）

佐賀～片渕 宏輔（会長） 椋野 智治（副会長）

宮崎～中田 洋輔（会長） 高月 航（事務局長）

沖縄～池城 正浩（会長） 城間 定治（事務局長）

鹿児島～梅本 昭英（会長） 平名 章二（副会長）

監事～白石 浩

事務局～赤崎 昭朗

報告事項：

- ①九州理学療法士・作業療法士合同学会2016報告（鹿児島）
- ②九州理学療法士・作業療法士合同学会2017進捗状況（宮崎）
- ③九州理学療法士・作業療法士合同学会2018進捗状況（沖縄）
- ④九州理学療法士学会（仮）進捗状況（鹿児島）
- ⑤平成29年度九州ブロック教育学会担当者会議報告（長崎）
- ⑥平成29年度九州ブロック政策活動委員会報告（鹿児島）
- ⑦平成29年度九州ブロック事務局長会議決算報告（沖縄）
- ⑧平成29年度九州ブロック臨床実習指導者研修会及び関係担当者会議進捗状況

(沖縄)

⑨平成 29 年度九州管理・運営研修会進捗状況 (鹿児島)

⑩平成 30 年度九州ブロック現職者講習会進捗状況 (佐賀)

議 題：

①記念式典に係る費用について(沖縄)

②表彰者の選出について

3. 平成 29 年度九州理学療法士・作業療法士合同士会長会議

日 時：平成 29 年 11 月 10 日 (金) 17:00~19:00

場 所：シーガイアコンベンションセンター 4階 マーブルルーム

出席者：熊本～北里 堅二 (理学療法士協会会長) 内田 正剛 (作業療法士会会長)
佐賀～片渕 宏輔 (理学療法士会会長) 倉富 真 (作業療法士会会長)
大分～河野 礼治 (理学療法士協会会長) 高森 聖人 (作業療法士会会長)
鹿児島～梅本 昭英 (理学療法士協会会長) 竹田 寛 (作業療法士協会会長)
宮崎～中田 洋輔 (理学療法士会会長) 津輪元修一 (作業療法士会会長)
沖縄～池城 正浩 (理学療法士会会長) 比嘉 靖 (作業療法士会会長)
福岡～西浦 健蔵 (理学療法士会会長) 志井田太一 (作業療法協会会長)
長崎～塩塚 順 (理学療法士会会長) 沖 英一 (作業療法士会会長)

報告事項：

①九州理学療法士・作業療法士合同学会 2016 報告 (鹿児島)

②合同学会監査報告

③九州理学療法士・作業療法士合同学会 2017 進捗状況 (宮崎)

④九州理学療法士・作業療法士合同学会 2018 進捗状況 (沖縄)

議 題：

①平成 29 年 3 月 31 日現在の OT 会員数の確認

②記念式典について 予算案、表彰者の選出

4. 士会機能強化推進執行委員会の各都道府県士会へのヒアリング訪問 (佐賀県)

日 時：平成 29 年 11 月 24 日 (金) 19:00~20:30

場 所：佐賀県理学療法士会事務所

出務者：西浦

5. 都道府県理学療法士会における住民参加型の総合事業獲得・運営習得研修会

日 時：平成 29 年 11 月 25 日 (土) 9:55~15:50

平成 29 年 11 月 26 日 (土) 9:30~15:00

場 所：麻生リハビリテーション大学校

出務者：西浦、時吉、今村、

西浦会長：九州理学療法士・作業療法士合同学会は 2018 年で終了。演題数が増える予定。翌年からの学会名称は検討中。

【事務局】

【法人事業】

I. 事業

[事務局長]

1. 日本理学療法士協会次期システム構築に関するヒアリング

日 時：平成 29 年 11 月 28 日（火）19：00～21：00

場 所：本会事務所

内 容：①次期システム構築のスケジュール
②次期システム機能の検討状況について

出務者：近藤、廣滋、中山、長田

大川（JPTA 総務課）

2. 後援名義一覧（別紙：15）

委員推薦一覧（別紙：16）

近藤事務局長：会員の情報管理システムについて要望が出ていた。協会の学会管理システムのリニューアルが進んでいる、2021 年 7 月から県士会でも使用可能になるかもしれない。WEB 選挙のシステムも将来的に県士会でも使用できる可能性があり、予算削減につながると思われる。

[総務部]

1. 平成 30 年度新人オリエンテーション開催日時・場所について

下記の日程で開催予定である。

（福岡支部） 日 時：平成 30 年 4 月 22 日（日）

場 所：麻生リハビリテーション大学校

（北九州支部） 日 時：平成 30 年 4 月 22 日（日）

場 所：製鉄記念八幡病院

（福岡支部） 日 時：平成 29 年 5 月 6 日（日）

場 所：ホテルニュープラザ久留米

2. 平成 29 年度管理者研修会

日 時：平成 29 年 11 月 6 日（月）19：00～21：30

場 所：麻生リハビリテーション大学校

参加者：22 名

出務者：永野、泉、岩佐、福田、宇戸、諫武、平原、加藤

3. 平成 29 年度養成校意見交換会

日 時：平成 29 年 11 月 18 日（土）15：00～18：00

場 所：リファレンス駅東ビル貸会議室

出務者：西浦、永友、近藤、宇戸、諫武、永野、岩佐、山内、福田、池田、加藤、明日、日野

他養成：16 名

[災害対策部]

1. 平成 29 年度北九州医師会医療救護計画に基づく災害医療・作戦指令センター（DMOC）と関係機関による災害支援に係る情報伝達訓練
日 時：平成 29 年 11 月 11 日（土）14：00～17：00
場 所：北九州市立八幡病院
出務者：平原、加藤、池永

[財務部]

1. 平成 29 年度修正予算書作成について
前回理事会後各部局より提出いただいた修正予算をもとに平成 29 年度修正予算書の作成を行った。
（別紙：別表 G）
具体的な金額に関しては、各部局に対して個別に相談させていただいた。

[組織部]

1. 「海外の ergonomics から考える これからの産業理学療法セミナー」への参加
日 時：平成 30 年 11 月 5 日（日）
場 所：兵庫県民会館
出務者：橋本

II. 関係会議

[総務部]

1. 第 3 回総務部会議
日 時：平成 29 年 11 月 27 日（月）19：00～20：30
場 所：福岡青洲会病院
内 容：平成 29 年度管理者研修会振り返りについて
平成 29 年度養成校意見交換会実施振り返りについて
平成 30 年度事業計画について
災害対策マニュアル作成 他
出務者：諫武、平原、池田、加藤

[組織部]

1. 第 2 回組織部会議
日 時：平成 29 年 11 月 28 日（火）19：00～20：30
場 所：甘木中央病院
内 容：広報誌作成について
出務者：永野、原口、川上

【学術局】

【公益事業 1 理学療法士の知識及び技術の向上を図る事業】

I. 事業

[学会部]

1. 第27回福岡県理学療法士学会進捗状況

1) 一般演題投稿の採否に関して

53 演題投稿 全演題採択とした

(8 演題セレクション口述発表、20 演題一般口述発表、25 演題ポスター発表)

2) 学会当日の支部協力者

	氏名	所属
福岡	里崎 有希	原病院
	寒竹 啓太	福岡みらい病院
	長尾 有起	さく病院
	齋藤 貴文	麻生リハビリテーション大学校
	石松元太郎	宗像水光会総合病院
	藤井 良介	宗像水光会総合病院
	石元 淳也	亀山クリニック
	桑原 大介	篠栗病院
	荒木 賢治	博愛会病院
	今井 陽平	博愛会病院
	山口 展明	桜十字福岡病院
	遠藤 正英	桜十字福岡病院
北九州	山内 康太	製鉄記念八幡病院
	井上 智博	飯塚病院
	兵頭 正浩	新小倉病院
	帆足俊一郎	小倉リハビリテーション学院
	亀田 千恵	JR 九州病院
	井上 智之	JCHO 九州病院
筑後	安 勇喜	甘木中央病院
	村上 武士	柳川リハビリテーション病院
	伊藤 憲一	大牟田吉野病院
	綾部 政章	久留米リハビリテーション学院
	福田 輝和	朝倉医師会介護支援センター

3) 講師・司会者への公文書発送済み

4) 座長一覧

口述発表	領域	氏名	所属
セレクションセッション1		廣滋 恵一 氏	九州栄養福祉大学
		遠藤 正英 氏	桜十字福岡病院
セレクションセッション2		松崎 哲治 氏	麻生リハビリテーション大学校
		鈴木 裕也 氏	製鉄記念八幡病院
セッション1	内部障害	入江 将考 氏	新小倉病院
セッション2	運動器	佐藤 孝二 氏	久留米大学医療センター
セッション3	運動器	高山 正伸 氏	小倉リハビリテーション学院
セッション4	神経	吉村 恵三 氏	九州中央病院
ポスター発表			所属
セッション1	運動器/ 生活環境	斉藤 貴文 氏	麻生リハビリテーション大学校
セッション2	内部障害/ 基礎	野元 大 氏	済生会福岡総合病院
セッション3	運動器	小山 泰宏 氏	博多メディカルクリニック
セッション4	生活環境	今村 純平 氏	久留米リハビリテーション病院
セッション5	神経/教育 管理	下川 将輝 氏	福岡みらい病院

2. 演題不採択の定義（基準）

演題登録システムを導入しているが、演題不採択の明確な基準を設けていない。

毎年演題数も増えていることから、演題採否の基本姿勢を以下のように定めたい。

- ① 会場のキャパに応じて最大採択数を決定する
- ② 発表経験の中で学ぶことが重要ととらえる
- ③ 不採択の判断手続きは、下位査読点数演題の査読コメントを参考に、学会長・学術局長・学会部において審議・決定する

3. 第27回福岡県理学療法士学会 現時点での課題と対応

1) 学術局マニュアル 【座長選出】の改定について

【現状】

8. 座長の決定

- 3) 各セッションの座長の決定は、支部からの推薦者を中心に選定する。
- 4) 一般演題発表の座長を専門理学療法士から選出し、立案する。

【改定案】

8. 座長の決定

- 3) 各セッションの座長の決定は、学会部で選定する。
- 4) 一般演題発表の座長を認定・専門理学療法士から選出し、立案する。

以上を2018年度のマニュアルに明記する。

2) 査読項目の偏りについて

「運動器」演題が 21/53 演題となり、査読者 1 人あたり 9～10 演題の査読を行って頂いた。教育・基礎・物療などは演題が少ないため、1 人あたり 2～3 演題の査読で演題数に偏りがあった。そこで、運動器の査読者の増員を希望する。5～10 名の候補者リストを査読部から提案し、次年度の査読者として委嘱する。

3) 次年度以降の演題募集期間に関して

査読遅延によるトラブルを避けるため、下記のように演題募集期間を変更する。

【現状】

演題募集期間 9 月 1 日～9 月 30 日

延長期間 10 月 1 日～中旬

【改定案】

演題募集期間 8 月 1 日～8 月 31 日

(延長期間 9 月 1 日～9 月 15 日)

[学術誌編集部]

1. 理学療法福岡 31 号 進捗状況

1) 巻頭言：近藤 直樹 氏（事務局長） 依頼中

2) 特集テーマ：がんリハビリテーション 依頼中

入江 将考 氏：急性期の肺がんリハビリテーション

林 邦男 氏：緩和ケア

三原 絵美 氏：在宅におけるがんのリハビリテーション

米永 悠佑 氏：液性がんのリハビリテーションあるいはがん患者
の評価

3) 講演録：熊谷 秋三 先生（九州大学大学院 教授）受理

4) 優秀賞：山内 康太 氏（製鉄記念八幡病院）依頼中

奨励賞：永松 邦夫 氏（久恒病院）再査読中

5) 受理済み一般投稿

日野 真 氏（医療介護施設かめやま 通所リハビリテーション）

演題：高齢リハビリ患者に対する理学療法士による身体活動及び ADL
評価と、栄養状態の関係性についての検討

鐵見 竜司 氏（済生会八幡総合病院）

演題：歩行練習後に低血圧症をきたした大腿骨頸部骨折術後症例-血圧
低下の考察と今後の対策-

横山 一仁 氏（福岡リハ整形外科クリニック）

演題：重度内側型変形性膝関節症患者の歩行時下腿側方動揺に影響を
与える因子

森 聡 氏

演題：キセノン光の星状神経節近傍照射が自律神経活動動態および末梢血管機能に及ぼす影響

本多 裕一 氏（専門学校柳川リハビリテーション学院）

演題：虚弱高齢者の踵床間距離測定と動的バランスならびに転倒との関係－転倒スクリーニングテストの考案－

他査読中：2件

[学術研修部]

1. 平成 29 年度 理学療法士講習会 応用編

日 時：平成 29 年 11 月 26 日（日）9：30～16：30（9：00～受付）

場 所：麻生リハビリテーション大学校

テーマ：「慢性呼吸器疾患における理学療法の理論と実際」

講 師：神津 玲 氏（長崎大学 医歯薬学総合研究科 医療科学専攻 教授）

定 員：40 名

参加者：34 名（内：1 名は午後より早退）

欠席者：8 名（連絡有：1 名 連絡無：7 名）

出務者：山口、長谷川、國友、中野、野元、宇戸

II. 関係会議

[学術局]

1. 第 3 回学術局会議

日 時：平成 29 年 11 月 20 日（月）19：00～21：30

場 所：麻生リハビリテーション大学校

内 容：各部審議事項の検討、報告事項の確認

出務者：廣滋、音地、佐藤、宇戸、山内、遠藤、兵頭、久保田、綾部

[学会部]

1. 第 2 回学会部会議

日 時：平成 29 年 10 月 20 日（金）19：00～21：00

場 所：新吉塚病院

内 容：学会の打ち合わせ、業務内容の確認

出務者：林田、富澤、吉田、丹生、山口、音地

[学術研修部]

1. 第 4 回学術研修部会議

日 時：平成 29 年 11 月 25 日（土）15：00～19：00

場 所：麻生リハビリテーション大学校

内 容：理学療法士講習会 応用編（事前会議）

学術研修大会について

出務者：山口、國友、中野、野元、宇戸

【社会局】

【公益事業1 理学療法士の知識及び技術の向上を図る事業】

I. 事業

[職能部]

1. 産業理学療法研修会

日 時：平成 29 年 10 月 22 日（日）9：00～12：00

場 所：福岡国際医療福祉学院

テーマ：「保険外領域での職域拡大と産業保健分野における理学療法士の活動について～協会の今後の展望～」

講 師：佐々木嘉光 氏（訪問リハビリテーション振興財団）

テーマ：「産業保健領域における動作分析の応用と作業姿勢負担評価」

講 師：谷 直道 氏（一般社団法人 日本予防医学協会 OHソリューション室）

司 会：明日 徹 氏（産業医科大学若松病院）

出務者：吉村（直）、吉村（美）、久原

参加者：28 名

II. 関係会議

[社会局]

1. 第3回社会局会議

日 時：平成 29 年 10 月 10 日（火）19：00～21：00

場 所：宗像水光会総合病院

内 容：審議事項および下半期事業確認

出務者：高橋、久保田、熊谷、久原

2. 第4回社会局会議

日 時：平成 29 年 11 月 28 日（火）19：00～21：00

場 所：宗像水光会総合病院

内 容：来年度予算および事業確認

出務者：高橋、熊谷、久原

[職能部]

1. 第5回社職能部会議

日 時：平成 29 年 11 月 13 日（月）19：00～21：00

場 所：宗像水光会総合病院

内 容：下半期研修会について

出務者：麻生、緒方、吉村（直）、吉村（美）、久原

【公益事業2 理学療法の知識・技術の普及・啓発を行う事業】

I. 事業

[公益事業推進部]

1. 体力測定会事前研修会

日 時：10月17日（火）19：00～21：00

場 所：製鉄記念八幡病院第3会議室（管理棟3階）

内 容：体力測定会に関する研修会

テーマ：「体力測定会の実際と身体機能評価に必要な基礎知識」

講 師：熊谷 謙一 氏（製鉄記念八幡病院）

テーマ：「検査・測定の方法とその基礎解釈」

講 師：松垣竜太郎 氏（産業医科大学病院）

司 会：奥野 将太 氏（福岡記念病院）

参加者：22名

出務者：田代

2. 第16回健康21世紀福岡県大会

日 時：平成29年10月22日（日）10：00～17：00

場 所：明治屋産業びっくり市

内 容：体力測定会

利用者：128名

出務者：20名

II. 関係会議

[社会局]

1. 第3回社会局会議

日 時：平成29年10月10日（火）19：00～21：00

場 所：宗像水光会総合病院

内 容：審議事項および下半期事業確認

出務者：高橋、久保田、熊谷、久原

2. 第4回社会局会議

日 時：平成29年11月28日（火）19：00～21：00

場 所：宗像水光会総合病院

内 容：来年度予算および事業確認

出務者：高橋、熊谷、久原

【公益事業3 理学療法の知識・技術を提供する事業】

I. 事業

[公益事業推進部]

1. 平成 29 年度障害者スポーツ研修会
第 4 回車いすテニスメディカルトレーナー養成研修会①
日 時：平成 29 年 10 月 20 日（金）19：00～21：00
場 所：宗像水光会総合病院
テーマ：「テニスで多い障害（肩・肘）に対する対応」
講 師：中村 総克 氏（メディカル・Re-コンディショニング宗廣）
参加者：10 名
出務者：中田、吉井、樋口
2. その他スポーツ障害予防に対する活動全般事業（スポーツ障害（傷害）予防事業）事前研修会
日 時：平成 29 年 10 月 21 日（土）14：00～17：00
場 所：福岡医療専門学校
テーマ：「バスケットボールに関わる障害（傷害）予防事業講習会」
講 師：森田 正輝 氏（南川整形外科病院）
参加者：15 名
出務者：長和、平岡
3. その他スポーツ障害予防に対する活動全般事業（スポーツ障害（傷害）予防事業）
日 時：平成 29 年 11 月 3 日（金）14：00～16：30
場 所：北九州市立中央中学校
内 容：バスケットボール選手のための傷害予防教室
利用者：中学男子バスケットボール部 19 名、中学女子バスケットボール部 12 名、教員 3 名
出務者：塩塚、森田、嶋田、野原、池田
4. その他スポーツ障害予防に対する活動全般事業（スポーツ障害（傷害）予防事業）事前研修会
日 時：平成 29 年 11 月 4 日（土）14：00～17：00
場 所：麻生リハビリテーション大学校
テーマ：「少年野球に関わる障害（傷害）予防事業講習会」
講 師：鶴田 崇 氏（南川整形外科病院）
参加者：8 名
出務者：猪口、川原、久保田

II. 関係会議

[社会局]

1. 第 3 回社会局会議
日 時：平成 29 年 10 月 10 日（水）19：00～21：00
場 所：宗像水光会総合病院
内 容：審議事項および下半期事業確認
出務者：高橋、久保田、熊谷、久原
2. 第 4 回社会局会議
日 時：平成 29 年 11 月 28 日（火）19：00～21：00

場 所：宗像水光会総合病院
内 容：来年度予算および事業確認
出務者：高橋、熊谷、久原

【その他事業 会員の福利厚生に関する事業】

I. 事業

[職能部]

1. 自民党県連 平成 30 年度福岡県予算 要望事項について（別紙：17～20）

11 月 22 日に自由民主党福岡県支部連合会より通知のあった平成 30 年度福岡県予算等に対する要望事項に関し、会員からの意見を踏まえて 3 つの内容を提出した。

久原理事：理事会終了後に報告書を HP にアップする予定である。

2. 介護保険関連施設等従事者研修会終了について

介護保険施設などに従事する理学療法士への研修会が少なかったため、平成 21 年度より実施されている事業であるが、3 団体で実施されている福岡県訪問リハビリテーション実務者研修会と内容が重なっている部分も多く、現在では日本地域理学療法学会として研修会等が増加していることなどから、役割を終えたと判断し来年度からの事業は終了とする。

⇒取り下げ

II. 関係会議

[社会局]

1. 第 3 回社会局会議

日 時：平成 29 年 10 月 10 日（水）19：00～21：00

場 所：宗像水光会総合病院

内 容：審議事項および下半期事業確認

出務者：高橋、久保田、熊谷、久原

2. 第 4 回社会局会議

日 時：平成 29 年 11 月 28 日（火）19：00～21：00

場 所：宗像水光会総合病院

内 容：来年度予算および事業確認

出務者：高橋、熊谷、久原

[職能部]

1. 第 5 回社職能部会議

日 時：平成 29 年 11 月 13 日（月）19：00～21：00

場 所：宗像水光会総合病院

内 容：平成 29 年度減点査定調査について

出務者：麻生、緒方、吉村（直）、吉村（美）、久原

【地域包括ケア推進局】

【公益事業1 理学療法士の知識及び技術の向上を図る事業】

I. 事業

1. 地域包括ケア推進リーダー導入研修会

日 時：平成 29 年 10 月 1 日（日）8：30～17：00

場 所：福岡青洲会病院 研修棟 4F

内 容：1) 地域包括システムについて
2) 地域ケア会議とは（必要とされる背景と位置付け）
3) 地域ケア会議に求められる理学療法士の役割
4) 模擬会議の実際（ビデオ視聴）と心構え

講 師：村田、有田、今村

出務者：中村、吉田

2. 介護予防推進リーダー導入研修会

日 時：平成 29 年 11 月 19 日

場 所：製鉄記念八幡病院 4F 講堂

内 容：1) 介護予防事業に関連する行政組織・関連団体と福祉計画
2) 介護予防事業の展開方法
3) 介護予防の実践 ロールプレイスライド
4) 介護予防事業の企画立案

講 師：西村、帆足、松崎、今村

出務者：中村、吉田、山内

II. 関係会議

1. 第 2 回 地域包括ケア推進局 会議

日 時：平成 29 年 10 月 14 日（土）13：00～19：00

場 所：麻生リハビリテーション大学校

内 容：介護予防推進リーダー導入研修会開催
地域包括ケア推進リーダーステップアップ導入研修会
介護予防推進リーダーステップアップ導入研修会

出務者：松崎、今村、時吉、大島、志田、村田、中村、薮野、帆足、有田、高木

2. 第 3 回 地域包括ケア推進局 会議

日 時：平成 29 年 11 月 28 日（火）13：00～19：00

場 所：麻生リハビリテーション大学校

内 容：地域包括ケア推進リーダーステップアップ導入研修会
介護予防推進リーダーステップアップ導入研修会

出務者：27 名

【公益事業3 理学療法士の知識・技術を提供する事業】

I. 事業

1. 福岡県地域医療介護総合確保基金補助金介護業務における介護職員の腰痛予防研修会
日 時：平成 29 年 10 月 21 日（土）13：00～17：00
場 所：小倉リハビリテーション学院
内 容：福岡県地域医療介護総合確保基金補助金介護業務における介護職員の腰痛予防研修会
講 師：廣滋 恵一 氏（九州栄養福祉大学 リハビリテーション学部）
出務者：時吉、今村、松崎、藤井
2. 福岡県地域医療介護総合確保基金補助金介護業務における介護職員の腰痛予防研修会
日 時：平成 29 年 11 月 18 日（土）13：00～17：00
場 所：麻生リハビリテーション大学校
内 容：福岡県地域医療介護総合確保基金補助金介護業務における介護職員の腰痛予防研修会
講 師：廣滋 恵一 氏（九州栄養福祉大学 リハビリテーション学部）
出務者：松崎、山脇、藪野、有田、大島

II. 関係会議

1. 「福岡県介護予防市町村事業にかかる協議」
日 時：平成 29 年 11 月 7 日（火）14：00～15：30
場 所：吉塚合同庁舎 401 会議室
内 容：1) 事業への協力医療機関について
2) 各専門職団体における研修の内容について
(1) 公益社団法人 福岡県理学療法士会
(2) 公益社団法人 福岡県作業療法士協会
(3) 一般社団法人 福岡県言語聴覚士会
3) 名簿の更新について
→決定事項：4 月中旬を目途に名簿の再提出を行う。
4) その他
出務者：永友、松崎

【支部局】

【公益事業1 理学療法士の知識及び技術の向上を図る事業】

I. 事業

[福岡1地区]

1. 第4回福岡1地区研修会
日 時：平成 29 年 10 月 20 日（金）19：00～21：00
場 所：麻生リハビリテーション大学校 8階講堂
テーマ：「臨床実習指導再考～クリニカル・クラークシップの本質と誤解～」
講 師：玉利 誠 氏（福岡国際医療福祉学院・国際医療福祉大学大学院）

司 会：齊藤 貴文 氏（麻生リハビリテーション大学校）

参加者：100 名

出務者：有馬、里崎、増見、倉住、小田、池田、遠藤

2. 第5回福岡1地区研修会

日 時：平成29年11月22日（水）18：30～21：30

場 所：麻生リハビリテーション大学校 8階講堂

テーマ：「脳血管疾患患者の動作の本質を知る」

講 師：鍋島 一樹 氏（千鳥橋病院）

司 会：平山 剛士 氏（誠愛リハビリテーション病院）

参加者：101 名

出務者：有馬、齊藤、古野、長尾、市原

[福岡2地区]

1. 第3回福岡2地区研修会

日 時：平成29年10月10日（火）19：00～21：00

場 所：博愛会病院 地域リハビリテーションセンターVigor club

内 容：「片麻痺歩行の遊脚期におけるバイオメカニクスと機能的電気刺激装置を用いた介入戦略」

講 師：大田 瑞穂 氏（誠愛リハビリテーション病院）

司 会：山口 展明 氏（桜十字福岡病院）

参加者：58 名

出務者：遠藤、山口、今本、白川、今井、相浦、荒木

2. 第4回福岡2地区研修会

日 時：平成29年11月21日（火）19：00～21：00

場 所：博愛会病院 地域リハビリテーションセンターVigor club

内 容：「これからの臨床教育 ～求められる人材育成と今後の方向性～」

講 師：宇戸 友樹 氏（専門学校麻生リハビリテーション大学校）

司 会：白石 寿恵 氏（早良病院）

参加者：38 名

出務者：山口、白石、今井、荒木

[福岡東地区]

1. 第4回福岡東地区研修会

日 時：平成29年10月12日（木）18：30～21：30

場 所：水光会総合リハ・フィットネスセンター 2階地域交流室

内 容：「脳血管障害患者の装具療法について」

講 師：遠藤 正英 氏（桜十字福岡病院）

司 会：赤川 哲史 氏（宗像水光会総合病院）

参加者：71 名

出務者：赤川、藤井、樋口、石松

2. 第5回福岡東地区研修会

日 時：平成 29 年 11 月 30 日（木）19：00～21：00

場 所：水光会 総合リハ・フィットネスセンター

内 容：「スポーツ傷害予防について」

講 師：重松 雄大 氏（南ヶ丘ばば整形）

司 会：樋口 貴彦 氏（宗像水光会総合病院）

参加者：27 名

出務者：樋口、藤井、赤川、石元

[北九州支部]

1. 第2回 北九州支部研修会

日 時：平成 29 年 11 月 24 日（金）19：00～21：00

場 所：九州栄養福祉大学リハビリテーション学部

テーマ：北九州支部合同症例検討会

司 会：セッション1 濱田 和美 氏（新小倉病院）

セッション2 緒方 友登 氏（産業医科大学病院）

セッション3 森口 晃一 氏（西尾病院）

演 題：

①森 智佳子 氏（製鉄記念八幡病院）

「長期間の人工呼吸器管理を要する重症 Guillain-Barre 症候群における呼吸リハビリテーションの経験」

②百田 汐織 氏（健和会大手町リハビリテーション病院）

「先天性ミオパチーを有し骨盤骨折を呈した症例～自宅退院に向けてのアプローチ～」

③八重倉政和 氏（新行橋病院）

「弁置換術後症例に対し、栄養介入を行い良好な結果を得られた症例」

④古野 祐司 氏（麻生飯塚病院）

「慢性閉塞性肺疾患に対し、外来リハビリテーションを実施した症例」

⑤中川 剛志 氏（麻生飯塚病院）

「右肺癌により右肺全摘出術を施行した1例」

⑥緒方 勇斗 氏（新小倉病院）

「低左心機能を有する慢性心不全増悪を呈して一症例に対する経験」

⑦前田 勇貴 氏（新小倉病院）

「心原性小脳梗塞後に心不全を繰り返し重度 deconditioning を合併した超高齢患者に対する理学療法の経験」

⑧松本 真理子氏（福岡新水巻病院）

「The interventions of interval walking training and big steps for two MCI cases」

⑨茅野 孝之 氏（製鉄記念八幡病院）

「ポリニューロパチーを呈した患者の長期間理学療法の経験」

⑩藤達 砂耶 氏（済生会八幡総合病院）

「脳梗塞発症後に歩行能力やバランス機能が低下した症例
～エルゴメーターの回転数に着目した ABA デザインによる介入～」

⑪澁谷 英久 氏（小倉リハビリテーション病院）

「障害像の整理に難渋した症例～運動麻痺、TKA、フェノバルル中毒の重複障害～」

⑫森 俊樹 氏（正和中央病院）

「複数回の転倒歴がある後期高齢患者に対し、転倒リスクの判定として CS-30 を活用した症例」

⑬田中 陽祐 氏（正和中央病院）

「半月板縫合術後の持続する疼痛に対し、ストレッチ指導が有効であった症例」

⑭吉田みづき 氏（正和なみき病院）

「在宅生活の再獲得を目指し介入した左大腿骨転子部骨折術後の一症例-転倒恐怖感に着目して-」

⑮筒丸 和徳 氏（田原整形外科）

「左膝前十字靭帯損傷術後患者の歩行獲得に対する一考察-股関節伸展可動域に着目して-」

⑯利田 直輝 氏（福岡新水巻病院）

「両膝内側半月板切除後、早期より個別筋アプローチとセルフエクササイズ指導にて介入を図った症例」

⑰森 聡 氏（飯塚市立病院）

「交通外傷後の眩暈及び頭重感に対する低反応レベルレーザーの星状神経節近傍照射の効果」

参加者：101名

出務者：山内、井上、本田、中村、瀬尾、兵頭、池田、白川、國田、帆足

[北九州1地区]

1. 第5回地区研修会

日 時：平成29年10月14日（土）14：00～17：00

場 所：九州栄養福祉大学リハビリテーション学部

テーマ：肩関節の捉え方～日常生活における動きと訓練方法～

講 師：河上 淳一 氏（済生会八幡総合病院）

司 会：善明 雄太 氏（新小文字病院）

参加者：96名

出務者：亀田、藤内、嶺、國田、白川

2. 第6回地区研修会

日 時：平成29年11月16日（木）19：00～21：00

場 所：北九州リハビリテーション学院

テーマ：今後の高齢者を取り巻く環境と求められる関わり

講 師：梶井 剛志 先生（らそうむ内科・リハビリテーションクリニック 作業療法士）

司 会：藤内 雄太 氏（JR九州病院）

参加者：24名

出務者：亀田、池田、藤内、眞路、中村、白川、緒方、田鍋

[北九州2地区]

1. 第4回北九州2地区研修会

日 時：平成29年10月19日（木）19：00～20：30

場 所：製鉄記念八幡病院

テーマ：研究法-臨床・大学院での研究から

講 師：河上 淳一 氏（社会福祉法人恩賜財団済生会八幡総合病院 リハビリテーション技
術科 久留米大学大学院医学研究科 整形外科講座 博士課程）

司 会：緒方 政寿 氏（正和中央病院）

参加者：48名

出務者：村上、後藤、星木、古賀、和田

2. 第5回北九州2地区研修会

日 時：平成29年11月16日（木）19：00～20：30

場 所：製鉄記念八幡病院

テーマ：COPDにおける理学療法

講 師：金田 瑠美 氏（医療法人恵友会 霧が丘つだ病院）

司 会：坂本 由佳 氏（福岡新水巻病院）

参加者：84名

出務者：後藤、熊谷、曾我部、藤田、立石

[筑豊地区]

1. 第5回筑豊地区研修会

日 時：平成29年10月20日（金）19：00～21：00

場 所：デイサービスセンターすばる

テーマ：「リハビリテーションと栄養～サルコペニアとフレイルティの観点から～」

講 師：白土 健吾 氏（飯塚病院）

司 会：井幡 康明 氏（ムーブメント飯塚）

参加者：23名

出務者：井上、瀬尾、青柳、引田

2. 第6回筑豊地区研修会

日 時：平成29年11月18日（土）17：30～20：30

場 所：デイサービスセンターすばる

テーマ：「呼吸理学療法の評価と臨床」

講 師：音地 亮 氏（新水巻病院）

司 会：清藤 亮吾 氏（リハビリ訪問看護ステーションすばる）

参加者：35名

出務者：瀬尾、井上、引田、福山

[筑後支部]

1. 第3回筑後支部研修会

日 時：平成 29 年 10 月 28 日（金）9：00～12：00

場 所：新古賀病院 記念講堂

テーマ：重症患者に対する早期リハビリテーション ～エビデンスと病態に基づいた介入～

講 師：入江 将考 氏（新小倉病院）

座 長：川原 敏郎 氏（聖マリアヘルスケアセンター）

参加者：42 名

出務者：安、石橋、高村、西、中原、堀江

II. 関係会議

[筑豊地区]

1. 第 4 回筑豊地区会議（学術会議）

日 時：平成 29 年 10 月 31 日（火）19：00～21：00

場 所：りはなす訪問看護ステーション

議 題：H30 年度筑豊地区研修会の検討

出務者：井上、瀬尾、井幡、清藤

[筑後支部]

1. 第 1 回筑後支部会議

日 時：平成 29 年 11 月 17 日（金）19：00～21：00

場 所：朝倉医師会介護支援センター

議 題：平成 30 年学術スケジュールならびに事業計画

出務者：福田、綾部、伊藤、成富、堀江、安、村上、松崎、木原

[筑後 1 地区]

1. 第 3 回筑後 1 地区会議

日 時：平成 29 年 10 月 27 日（金）19：00～21：00

場 所：朝倉医師会介護支援センター

議 題：平成 30 年学術スケジュールならびに事業計画

出務者：安、川原、石橋、上瀧、木村、高村、今村、西、立石、家守、塚田、谷口、水野、中原、高橋、田中、中島、堀江

【公益事業 2 理学療法の知識・技術の普及・啓発を行う事業】

I. 事業

[北九州 1 地区]

1. 体力測定会 事前準備

日 時：平成 29 年 10 月 25 日（水）17：00～18：00

場 所：宗像水光会総合病院

内 容：平成 29 年 10 月 27 日開催の体力測定会の事前準備

出務者：藤井

2. 体力測定会

日 時：平成 29 年 10 月 27 日（金）10：00～15：00

場 所：サニーサイドモール小倉

内 容：サニーサイドモール小倉に来店するお客様を対象とした体力測定会

利用者：80 名

出務者：17 名

3. 体力測定会 事後片づけ

日 時：平成 29 年 10 月 27 日（金）17：00～18：00

場 所：宗像水光会総合病院

内 容：平成 29 年 10 月 27 日開催の体力測定会の事後片付け

出務者：右田

[北九州 2 地区]

1. 北九州 2 地区体力測定会（八幡西区健康祭り）

日 時：平成 29 年 10 月 9 日（月）9：00～16：00

場 所：曲里の松並木公園

内 容：体力測定会

握力、長座位体前屈、膝伸展筋力（計測くん）、開眼片脚立位、2 ステップテスト、立ち上がりテスト

以上 6 項目実施

問診→体力測定会→フィードバックの流れ

利用者：300 名

出務者：27 名

2. 北九州 2 地区体力測定会（さくらんぼ保育園）

日 時：平成 29 年 10 月 28 日（土）10：00～12：00

場 所：社会福祉法人 薫風会 さくらんぼ保育園

テーマ：「親子で始める今と未来のための体力づくり」

講 師：大内 智彦 氏（放課後ディサービス hikobosi）

内 容：講演

体力測定 CS30、片脚立位

利用者：37 名

出務者：森本

3. 北九州 2 地区体力測定会（八児小学校）

日 時：平成 29 年 11 月 7 日（火）13：00～16：00

場 所：八児小学校

内 容：理学療法士説明、障害の説明、予防について

障害体験

片麻痺体験と車椅子体験を行いました。

体力測定

利用者：49名

出務者：11名

4. 北九州2地区体力測定会（下蓮花寺公民館）

日 時：平成29年11月18日（土）10：30～12：00

場 所：下蓮花寺公民館

内 容：準備運動

体力測定；握力、椅子座位体前屈、CS30、開眼片脚立位
運動指導；ロコトレを中心にグループでの個別指導
参加者1～2名に対して、理学療法士1人

利用者：17名

出務者：11名

[筑豊地区]

1. 第1回筑豊地区体力測定会

日 時：平成29年10月15日（日）9：30～15：30

場 所：イイツカコミュニティセンター

利用者：150名

出務者：15名

2. 第2回筑豊地区体力測定会

日 時：平成29年11月19日（日）12：00～17：00

場 所：山田生涯学習館

利用者：65名

出務者：14名

[筑後2地区]

1. 八女市介護予防教室

日 時：平成29年10月15日（日）8：30～12：30

場 所：総合保健福祉センター「そよかぜ」

利用者：43名

出務者：小森、芝原、山田、深野、吉村、野田、樋口、今村、横山、木村、大隈、伊藤、橋口、
吉川、井本、目野、村岡、鷹田、宮本、高木

II. 関係会議

[北九州1地区]

1. 第6回北九州1地区会議

日 時：平成29年10月17日（火）19：00～20：00

場 所：九州労災病院

議 題：平成29年10月27日開催の体力測定会事前打ち合わせ

出務者：15名

[北九州2地区]

1. 第7回北九州2地区会議（体力測定会事前会議 11月7日開催「八児小学校」）
日 時：平成29年11月1日（水）18：30～19：30
場 所：西野病院
内 容：事業内容の説明
開催日時の確認
物品の確認
出務者：11名
2. 第8回北九州2地区会議（体力測定会事前会議 11月18日開催「下蓮花寺公民館」）
日 時：平成29年11月8日（水）18：30～19：30
場 所：東筑病院
内 容：事業内容について説明
開催日時の確認
役割分担の確認
出務者：11名

[筑豊地区]

1. 第3回筑豊地区会議（体力測定事前会議）
日 時：平成29年10月10日（火）19：00～20：00
場 所：飯塚病院リハビリセンター1F
議 題：当日の運営について
出務者：14名
2. 第5回筑豊地区会議（体力測定事前会議）
日 時：平成29年11月6日（月）19：00～20：00
場 所：稲築病院リハビリテーション室
議 題：当日の運営について
出務者：14名

【公益事業3 理学療法の知識・技術を提供する事業】

I. 事業

[筑豊地区]

1. 田川地区介護サービス事業所協議会主催 第1回ヘルパー講習会
日 時：平成29年11月20日（月）19：00～20：30
場 所：田川市青少年ホール2階大会議室
テーマ：「身体介護実践編（歩行介助、床からの立ち上がりの介助法）」
参加者：36名
出務者：清藤、森元、大中
2. 田川地区介護サービス事業所協議会主催 第2回ヘルパー講習会
日 時：平成29年11月22日（水）19：00～20：30

場 所：田川市青少年ホール 2 階大会議室

テーマ：「身体介護実践編（歩行介助、床からの立ち上がりの介助法）」

参加者：40 名

出務者：：清藤、大中、青柳、井上

3. 田川地区介護サービス事業所協議会主催 第 3 回ヘルパー講習会

日 時：平成 29 年 11 月 28 日（水）19：00～20：30

場 所：田川市青少年ホール 2 階大会議室

テーマ：「身体介護実践編（歩行介助、床からの立ち上がりの介助法）」

参加者：32 名

出務者：清藤、青柳、引田

【その他事業 会員の福利厚生に関する事業】

I. 事業

[筑後 1 地区]

1. 筑後 1 地区レクリエーション

日 時：平成 29 年 11 月 24 日（金）19：00～21：00

場 所：楽市楽座 210

内 容：ボウリング

参加者：49 名

[筑後 2 地区]

1. 筑後 2 地区レクリエーション

日 時：平成 29 年 10 月 31 日（火）19：00～21：00

場 所：大牟田 J ボウル

内 容：ボウリング

参加者：28 名

II. 関係会議

[筑豊地区]

1. 第 6 回筑豊地区会議（レクリエーション会議）

日 時：平成 29 年 11 月 30 日（木）19：00～20：00

場 所：飯塚病院リハビリセンター1F

議 題：当日の運営について

出務者：井上、井上、瀬尾、井幡、野田、清藤

【法人事業】

I. 事業

1. 福岡支部東地区運営委員の退任

田村 理絵 氏（ライズトレーニングセンター古賀）

II. 関係会議

[支部局]

1. 第2回支部局会議

日 時：平成29年10月6日（金）19：00～21：00

場 所：福岡青洲会病院

議 題：管理者ネットワーク 他

出務者：12名

2. 第3回支部局会議

日 時：平成29年11月6日（月）19：00～21：00

場 所：桜十字福岡病院

議 題：次年度事業計画 他

出務者：4名

[福岡支部]

1. 第2回福岡支部会議

日 時：平成29年10月2日（月）19：00～21：00

場 所：桜十字福岡病院

内 容：福岡支部研修会について、社会職能の事業について、来年度の事業と学術スケジュールについて、来年度の予算について、研修会での発表者選定について

出務者：遠藤、川崎、伊集院、久保田、馬場、下川、大島、齊藤、荒木、石松

[福岡2地区]

1. 第1回福岡2地区会議

日 時：平成29年10月3日（火）19：00～20：30

場 所：博愛会地域リハビリテーションセンター

内 容：運営委員補充の報告、支部会議報告、地区内係決め、地区レクリエーションについて

出務者：荒木、白石、中嶋、山口、岩川、平井、牟田口、白川、今本、上内田、今井、相浦

[福岡東地区]

1. 第2回福岡東地区会議

日 時：平成29年11月10日（金）19：00～20：30

場 所：宗像水光会総合病院

内 容：平成29・30年度福岡支部・福岡東地区事業報告及び予定、今後の地区運営、委員としての在り方

出務者：石松、藤井、赤川、桑原、山坂、林、花田、石元、仁位、阿部

[北九州1地区]

1. 第5回北九州1地区会議

日 時：平成29年10月3日（火）19：00～20：00

場 所：小倉リハビリテーション学院

議 題：平成 29 年度北九州 I 地区上半期事業報告および下半期事業確認

出務者：14 名

[北九州 2 地区]

1. 第 9 回北九州 2 地区会議（平成 30 年度上半期研修会講師選定会議）

日 時：平成 29 年 11 月 17 日（金）18：30～20：30

場 所：JCHO 九州病院

内 容：①平成 30 年度上半期北九州 II 地区研修会の回数・予定

②平成 30 年度上半期北九州 II 地区研修会の内容

③平成 30 年度上半期北九州 II 地区研修会の講師選定

出務者：12 名

【その他の報告、検討課題について】

山内理事：受益者負担の検討は早めに着手すべきではないか。問題が先送りになっているままでは、解決が遅れてしまう。

西浦会長：組織検討委員会より 2 月に提案があると思う。

諫武理事：総務部で今年度の代議員総会議事録を振り返り、総会で出た意見と進捗状況を見直し整理する。

西浦会長：各支部で HP に掲載してほしい情報があれば、永野理事に相談していただきたい。

永野理事：HP 業者が決定次第、HP 用の写真撮影をお願いする部署があると思うので協力をお願いする。

今村理事：理学療法のイメージ写真といえばベッド上での可動域訓練などが使用されがちである。そのようなイメージも変えていきたいので、ぜひ考慮していただきたい。

宇戸理事：臨床理学療法研修会に 130 名の応募があった。予定数を超過しており、現状の会場では収まらないため、新たな会場を検討している。費用が予算を超える可能性がある。

近藤事務局長：今後、審議事項に関しては、各局十分検討し厳選して上げていただきたい。

【次回理事会】

日 時：平成 30 年 2 月 10 日（土）15：00～

会 場：麻生リハビリテーション大学校

以上のこの議事録の内容が正確であることを証明するため、出席した会長、副会長、事務局長、ならびに監事は、次の通り署名する。